



優秀賞

復活!! 豊後絞り

～最新技術×伝統工芸～



鶴崎工業
内田 ひな

設計主旨

この2年間、新型コロナウイルスの影響で新しい生活様式が世の中に浸透してきた。新しい生活様式とは
①施設を利用する際の時間の制限、
②ソーシャルディスタンスの確保、
③テレワークなどのデジタルシフトなどの3つで、特に③のデジタルシフトが浸透してきた。

一方、大分県では「アバター県おおいた」として遠隔操作ロボット「アバター」による地域課題解決や新産業の創出を図るため、県内外の企業が連携したサービス創出や技術開発への支援を行っており、教育現場では体の不自由な子どもが他の子と同じように学習や体験し、その空間を共有できるような取り組みが行われている。

私は、新しい生活様式が浸透してきた今、アバターは教育現

場に限らず、場を共有するモノ、情報・体験を世界に発信できるのではないかと考え、かつて大分の伝統工芸だった豊後絞りと掛け合わせ、もう一度、豊後絞りを復活させるための住まいを考えた。

